



大用の川は予想どおりきれいな川だった！



5月22日(月)、3・4年生が四万十川財団の神田さんと市役所生活環境課の職員さんにご協力をいただき、「水辺の楽校」(環境学習)を行いました。まず教室で、水生生物を調べることにより、水のきれいさや環境の豊かさが分かることや、水生生物が四万十川の豊かさを守っている大切な存在であることを学びました。

次は川での調査です。水は少し冷たかったのですが、水の透明度を測る清流度調査や、水生生物採取をしました。透明度は、四万十川支流の西土佐黒尊川と同程度の10m先まで見えました。また、つかまえた水生生物を写真と見比べながら仕分けをし、表にまとめて点数をつけると7.75でした。7.5以上が水質階級1のきれいな川だそうです。予想どおりきれいな川であることが分かりました。

学習後の感想では、「大用の川はめちゃくちゃきれいで自慢できることを知れてよかった」、「今日学んだ生き物をとるコツを参考にして川遊びの時に生物さがしを楽しみたい」、「水生生物の名前やきれいな水とよごれた水のちがいを知れてよかったです」など、一人ひとりの学びがびっしりと書かれていました。

今後も、ふるさと学習に取り組みます。神田さん、市役所の職員さん、ご協力ありがとうございました。

酒米の田植えをしました！



5月25日(木)、5・6年生と中学生が酒米の田植えをしました。なぜ、大用で酒米の栽培をしているのか、気になったので歴史を調べてみました。中村市史(続編)によると、1916(大正5)年に幡多郡で41軒の酒屋があり、大用(旧富山村)では宿毛や中村に次ぐ、かなり多くの酒が造られていたと酒造石数の記録が残っています。昔から酒造りが盛んな地域だったことが分かりました。稲刈りは10月頃の予定です。

ふれあい参観日へのご協力、ありがとうございました！

5月27日(土)、ふれあい参観日を実施しました。4校時目はプール開きでした。前日までの雨で水温の低さを心配しましたが、晴天に恵まれ楽しく初泳ぎができました。

午後からは、地域の方々や保護者とのふれあい交流でした。手遊び歌をしたり、クロッキー画をプレゼントしたりしました。その後、救急救命法講習会があり、5・6年生と中学生、保護者、教職員が実技を学びました。

地域の皆様、保護者の皆様、楽しく交流をしていただき、ありがとうございました。



▲小プールでの渦巻き(1・6年生)



▲手遊び歌



▲手遊び歌



▲胸部圧迫の練習「AED持ってきました！」